

浦安の子どもたちのために様々な場面で活躍してくださっている方たちを紹介します。



うらやすはやし ぼぞんかい
浦安囃子保存会



浦安囃子保存会の方にインタビューしてみました。

浦安小のお囃子部

内田 浦安小のお囃子部にかかわるようになってまだ数年ですが、子どもたちの上達は早いと感じます。来るたびにやれることが増えていっています。1回目、2回目のときは、笛の音が出ま



たくさんの“やりがい”

山本 この間、買い物に行ったときに、中学生に「先生」と声をかけられました。昨年、卒業したお囃子部の子でした。教えた子から声をかけてもらえるのはうれしいですね。



内田 中町の子どもたちの中には、神輿を触ったことも見たこともない子や太鼓を触ったことがないという子もいます。初めて太鼓をたたかせると子どもたちはとても喜びます。「太鼓はこういう風に響くんだ」「鐘の音はすごいな」などと、体験して喜ぶ顔を見るのがやりがいですね。



取り組みへの思い

杉山 伝統芸能を残していけないといけないという気持ちがあります。子どもたちを教えて、一人でも、あの時やったからやってみようという人がいれば、この会は継続していきます。



笛、太鼓、鐘というのは日本の重要な文化の一つだと考えます。「太鼓や笛はこういう音が出る」というのを体験できるのは、日本人として幸せなことではないかと思います。だから、私たちが率先して行うようにしています。



内田 代喜さん

山本 友子さん

杉山 徳生会長

内田 静江さん



取り組み

浦安小お囃子部

浦安小学校には、平成13年度から続くお囃子部があります。4・5・6年生が月1回、放課後に活動しています。浦安小学校で行われる「ふれあい祭り」や、市内のお祭り、博物館のイベントなどで練習した成果を発表しています。



お囃子体験活動

浦安囃子保存会は、市内の小学校の中学年を対象に、子どもたちに太鼓をたたき体験をさせたり、演奏を聴かせたりする活動を行っています。

